

福岡市役所 地球温暖化対策 率先実行計画（案）の概要

目標など

- 位置づけ：2030年度までの福岡市役所の業務に関する温室効果ガス排出量の削減計画（地球温暖化対策推進法に基づく法定計画（事務事業編））
- 目標：「エネルギー起源CO₂排出量を**70%削減**（2013年度比）」へと見直し。
（従来計画：エネルギー消費量を2022年度に8%削減（2013年度比））

主な取組内容

- 再生可能エネルギーの利用促進：
 - ・自家消費を目的とした太陽光発電設備を導入拡大し、2030年度までに、設置可能な施設等の**約50%以上に設置**（2040年度100%）
 - ・市有施設で**使用する電力を、原則再エネ100%に切り替え**ていく。
- 市有施設の省エネ性能の向上(ZEB化)：
 - ・今後予定する新築建築物については、原則ZEB Oriented*相当以上とし、学校施設、庁舎などは原則**ZEB Ready***相当となることをめざす。
- 庁用車の脱ガソリン車化：
 - ・庁用車の更新時には、**EV、PHEV、FCVの優先的な導入**を検討し、切替を進める。



博多区新庁舎（完成イメージ図）
市有施設初の ZEB Ready 認証取得



FCV（燃料電池自動車）
水素ステーション

率先実行計画 取組内容の全体像

市有施設の省エネ性能の向上

- ・環境配慮整備指針に基づく施設整備（高効率機器の導入、建物の高断熱化など）
- ・機器や設備の運用改善（設備設定の見直しなど）
- ・新築建築物のZEB化、改修時のZEB化の検討

再生可能エネルギーの利用促進

- ・2030年度までに設置可能な施設等の約50%以上に太陽光発電設備を設置
- ・自家消費型太陽光発電設備の導入拡大
- ・市有施設で使用する電力を原則再エネ100%へ切替

庁用車の脱ガソリン車化

- ・EV、PHEV、FCVの優先的な導入検討、切替の推進

主な事業における取組み

- ・廃棄物事業：ごみ減量の推進（3Rの促進）、廃棄物発電電力の活用
- ・下水道事業：下水バイオガス発電等の再エネ導入、施設の改築更新に伴う省エネ機器の導入
- ・地下鉄事業：地下鉄車両の更新や大規模改修
- ・水道事業：水道施設におけるデマンドレスポンス（電力の需要調整）の導入検討

等

その他の取組み

- ・公共建築物における木材利用の促進
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）によるオンライン化、ペーパーレス化
- ・職員の省エネ行動の徹底、グリーン購入の推進、節水など環境負荷の低減 等